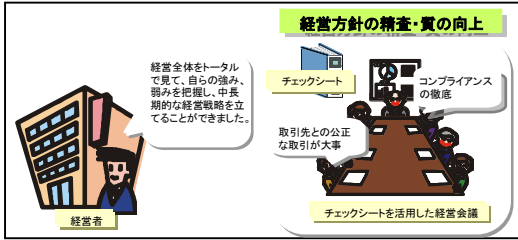


「食品事業者(経営陣)向け研修プログラム」の開発

●日本HACCPトレーニングセンター

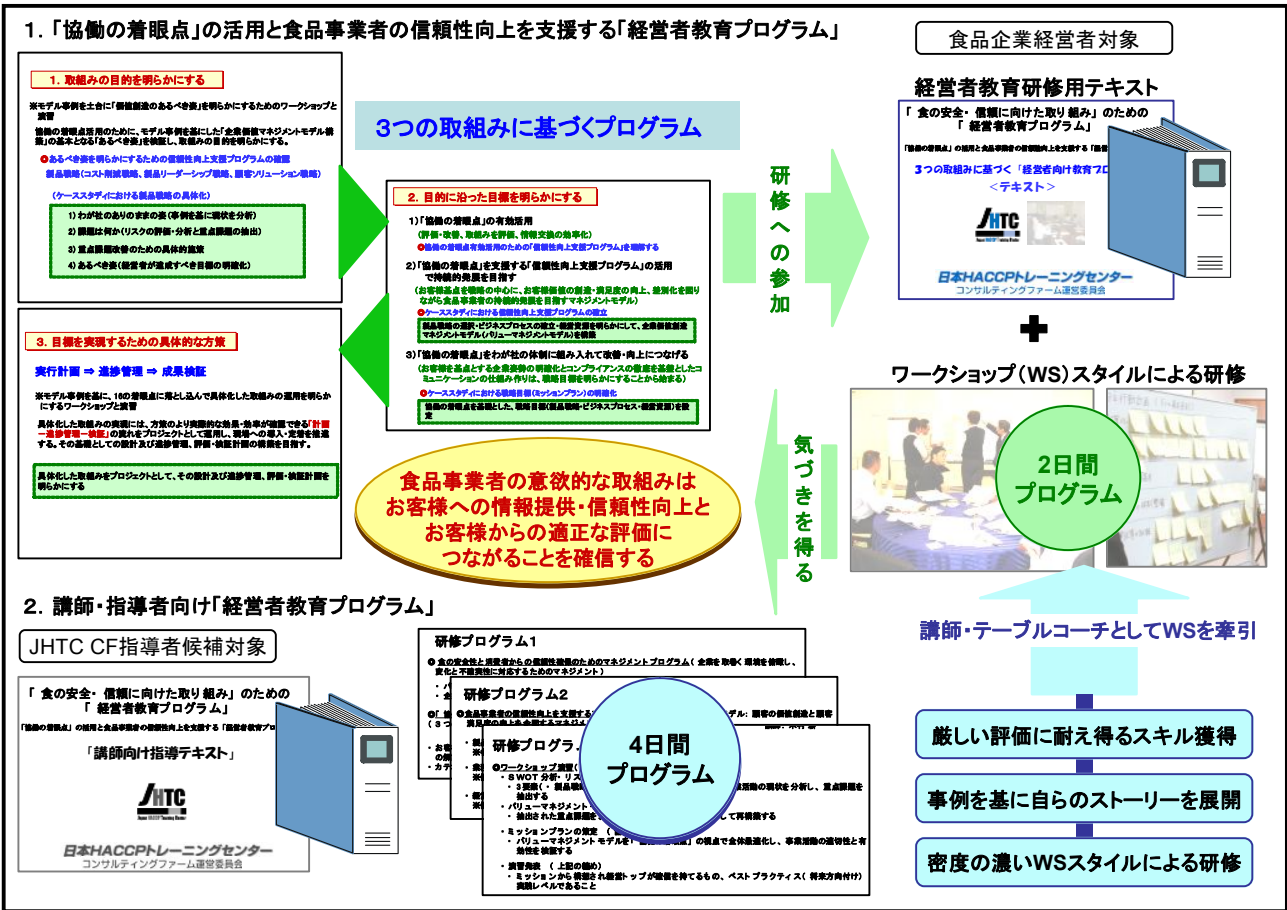


■実行可能性調査の目的

日本HACCPトレーニングセンター(JHTC)の教育プログラムとして、経営層が自社の課題を把握し経営戦略を明確化させるのに「協働の着眼点」(16項目)を活用したプログラムを、実際に食品企業経営者層を集めて研修を実施し、その効果を検証する。
JHTCが有する、専門コンサルタント・インストラクターを紹介する仕組みである「JHTCコンサルティングファーム」の人材プールを活用し、経営者教育に携わる講師陣養成により全国の中小企業で指導を行うための環境を整備する。



■協働の着眼点の活用



■成果

1. 経営者(経営層)の意識づけに止まらず、参加経営者が自らの企業に持ち帰り、具体的な計画に落とし込むための「経営者教育プログラム」により、「協働の着眼点」及び「食品事業者の信頼性向上支援プログラム」を活用する企業数の増加につながる。
2. 経営者や企業同士の交流、インストラクター(指導者)との交流を通じて全国的な相互コミュニケーションネットワーク構築が可能である。
3. JHTCが有する、専門コンサルタント・インストラクターを紹介する仕組みである「JHTCコンサルティングファーム」の人材プールを活用し、経営者教育に携わる講師陣養成により全国の中小企業で指導を行うための環境が整備される。
4. 具体的な成果として
 - ①経営者教育用プログラム(テキスト、講師用テキスト、実施要領等)開発
 - ②実証研修会実施検証報告による事業の持続可能性の明確化
 - ③「協働の着眼点」普及に関わるコンサルタント委員の増加と活用する食品事業者等の増加に資する